足踏式消毒スタンド『ＲＥＢＯＲＮ　奈良商工』を奈良市立平城西中学校に寄贈させて頂きました。

令和２年８月３日（月）、機械工学科の山口君と総合ビジネス科で同中学校卒業生の澤井さんが、奈良市立平城西中学校を訪問し、機械工学科３年生が「課題研究」で製作した足踏式消毒スタンドを直接お届けしました。その様子を産経新聞に掲載して頂きました。

この消毒スタンドは、寺田科学技術教育奨励事業の支援を受け、製作したものです。

産経新聞　令和２年（2020年）８月４日　火曜日　（奈良）　18

「足踏み式消毒スタンド」製作

奈良朱雀高生ら中学に寄贈

足踏み式消毒スタンドの使い方を実演する奈良朱雀高校の生徒ら＝奈良市

県立奈良朱雀高校（奈良市）の生徒らが、ペダルを踏むと適量の消毒液が出る「足踏み式消毒液スタンド」を製作し、市立平城西中学校に3日、寄贈した。

機械工学科の3年生10人が「新型コロナウイルスの終息に少しでも貢献できれば」と、課題研究の一環として製作。プログラミングした図面通りに金属を切断し、研磨や塗装といった全工程を生徒らが担った。鋼材などの材料費には、公益財団法人「寺田科学技術育英会」の助成金を充てた。

県内の中学校への寄贈は6校目で、さらに30個を製作中という。山口結人さん(17)は「3年間の集大成。卒業しても、みんなの役に立つものを作っていきたい」と意欲的。平城西中学校出身で、今回の取り組みをSNSで発信している総合ビジネス科の沢井美空さん(18)は「母校の後輩たちに安全に生活してもらえたら」と話した。